

令和7年度 延岡市立旭中学校 学校関係者評価書

〔4段階評価〕		4…期待以上	3…ほぼ期待通り	2…やや期待を下回る	1…改善を要する
評価指標	今年度の各校務での取組内容	学校の自己評価コメント	自己評価	学校関係者評価	学校関係者の評価コメント
学力の向上	1. 基礎基本の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小テストや単元テスト等で生徒の学習状況を把握し、授業改善に努める。</li> <li>○ 自動採点支援システムの活用によって、生徒自身が自分の学習状況を把握できるようにし、「わかる・できる」を実感できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業ごとに前時の復習を小テストや質問形式で行った。また、単元テスト等を行うことで基礎基本の内容を身に付ける努力をさせることができた。</li> <li>○ テストの結果をもとに分析を行わせ、自分の学習状況を把握しやすいようにできた。</li> </ul>	3.4	3.5 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の定着を図ろうとする指導者の姿勢を強く感じました。</li> <li>・授業の効率化やテンポアップなど、説明を短くし考えさせる工夫も必要では。</li> <li>・それぞれのレベルに応じた指導工夫がほしい。</li> <li>・ご努力に感謝します。更なる向上を生徒のためにお願いいたします。</li> <li>・タブレット利用により小テストがなくなってきているようなので単元ごとには行ってほしい。</li> <li>・学習状況を知ることで、先生も生徒もより向上できると思う。</li> <li>・テスト結果の分析方法が気になった。ICTなどを活用したのものになっているのか。</li> <li>・職員間で授業の進め方などお互いが見て、意見交換ができておりとても良い刺激になっていると思う。</li> <li>・CGや型紙の活用等教材教具の工夫などきめ細やかな指導が展開されており、生徒にとってわかりやすい授業になっている。</li> <li>・授業アンケートの内容について知りたい。②</li> <li>・どのような授業改善案が出たのか気になった。</li> <li>・生徒と生徒のコミュニケーションがよくとれている。</li> </ul>
	2. 思考力、判断力、表現力の育成 (主体的・対話的で深い学習のある学習スタイル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題研との関連を図り、学び合いの中で生徒の学力向上を図る。その際、ひなたの学びが活用できる場面をできるだけ設定する。</li> <li>○ 一人一台のタブレットになるので、授業での積極的な活用を図ることによって、生徒の思考がより深まるように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題研の学び合い学習にひなたの学びの視点も取り入れた。また、2学期に職員全員が互いの授業を参観しあうことで、授業改善に努めた。</li> <li>○ タブレットを活用して意見の集約などを行うことで、思考場面を増やすことができ。生徒同士の意見交換が活発になった。</li> </ul>	3.2	
	3. 指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学期1回生徒への授業アンケートを実施し、次学期に向けての授業改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1、2学期に1回ずつ授業アンケートを行い、授業改善につなげることができた。</li> </ul>	4.0	
心の教	1. 社会性の涵養	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎日の朝の会で挨拶やお礼の言葉などを唱和する取組を行ったり、授業の中でもあいさつや返事が不十分な時はやり直しをさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎日の朝の会、帰りの会で、各学級から元気なあいさつ練習の声が響いている。各授業でも繰り返し指導を行っており、授業</li> </ul>	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生との比較でみると明らかに中学生になってからあいさつ言葉使いなど成長している。</li> <li>・あいさつが議論されないといけないのが心配しています。</li> </ul>

		<p>せたりというこれまでの活動を継続する。また、部活動を通してあいさつや返事等のさらなる定着を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職場訪問や大学訪問などさまざまな校外活動を通して社会経験を積ませる。</li> <li>○ 地域のボランティア活動への参加をうながしたり、地域の方と触れ合う機会を創り出したりするなどして、幅広いコミュニケーションの体験を積ませる。</li> </ul>	<p>の際の号令もきちんとできている。部活動生の礼儀についても例年以上に良い。</p> <p>しかし、立ち止まって礼をすることはできなくなってきているので、生徒会が取り組みを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生は1次産業体験、2年生は修学旅行や職場訪問や「ひなた場」、3年生は大学訪問や高校入試などを通して良い刺激を受けている。</li> <li>○ 地域のボランティアに参加する人数は例年通りだが、今年の生徒たちは高い意欲で取り組んでいる様子が見える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをしてくれる中学生が昨年よりも増えたように感じる。</li> <li>・登下校で出会った方々にあいさつがとびかう事で、不審者の抑制と防犯に効果があると報告もあります。検討ください。</li> <li>・あいさつはとても良い声が聞かれている。あいさつ運動への参加も良い。</li> <li>・静かに通り過ぎる姿もあるが、日頃からあいさつが伝わっている。</li> <li>・横断歩道で車を停めていると、頭を下げて通る生徒もいる。</li> <li>・一部の生徒においては、部外者に対してあいさつなど個人差が見られる。</li> <li>・歩いていると会った時に、こちらからの声かけにあいさつを返している生徒もいる。地域の方々からの声かけにもスムーズに対応できている。</li> <li>・時間を守る点から、授業の開始着席に個人差が見られる。</li> <li>・全般として学級担任の学級経営が良く、生徒全体が落ち着き、明るい学級の雰囲気がある。</li> <li>・地域ボランティア時の地域の皆様とのコミュニケーションにもうひと工夫にか考えたい。</li> </ul>
2. 人間関係の基盤づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 担任と副担任で協力して道徳の授業を実践し、生徒の人権意識を高める。また、学級通信でその内容や生徒の声を保護者にも伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳授業にはどの学年も複数の教員が指導に携わり、計画的に実施している。</li> <li>○ これまでの学校の主題研究である「学び合い学習」が人間関係づくりにも良い影響を与えている。</li> </ul>	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の教員が協力して実践することのメリットが気になりました。</li> </ul>
3. 生徒指導の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒会活動、委員会活動、学級活動、学校行事において、生徒自身による自治的な活動をうながす。そのような活動を通して、自己存在感を感じさせ、自己決定の場を与えるとともに、共感的な人間関係を築かせていく。</li> <li>○ 家庭環境が複雑な生徒や特性の強い生徒に対しては、学校だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種学校の取組は、常にブラッシュアップを図り、より良いものへと改善されている。そのため、生徒の自治意識は年を追うごとに高まっている。</li> <li>○ 専門的職員や専門機関と多岐に渡って連携している。また、学校職員も生徒や家庭と密接にコミュニケーションを図っている。しかしながら、全校の不登校生徒数はなかなか減らない。</li> </ul>	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の姿や働き、コミュニケーションをとっていることなど、とても良いと思う。</li> <li>・不登校生徒の原因となることは何でしょうか。</li> <li>・先生方の仕事が多く、もう少し人数を増やして充実させてもいい。</li> <li>・生徒会新聞など、生徒会中心の活動に目をみはるものを感じます。</li> <li>・校則を生徒会を中心に自分たちで考えながらつくる取り組みは自主性や自己管理能力の観点からとても良い。</li> </ul>

		ワーカー、北部地域基幹相談支援センターなど、関係機関と協力して支援を行う。				<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の寒い中、生徒指導主事の立ち番ありがとうございました。</li> <li>不登校生徒に対する学校の取組はある程度評価できる。民生委員や地域との連携なども望まれる。</li> </ul>
健康安全・体力の向上	1. 体力や運動能力の向上及び食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>新体力テスト結果を部活動顧問にフィードバックし、指導の際に役立てる。</li> <li>スクールスポーツプランの重点項目について保健体育の授業で年間を通して取り組む。</li> <li>学校保健委員会で講師を介しての食育に関する推進・啓発に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力テストの結果を部活動顧問にフィードバックし、指導の参考にしてもらうことができた。</li> <li>スクールスポーツプランの重点項目について、年間を通して体育の授業で取り組むことができ、一定の成果を見たが、個人差があり、今後も継続していく必要がある。</li> </ul>	3.7	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲーム依存など、身体を動かすことが減っているため、体育の授業などの取組はとても良い。</li> <li>生涯を通してより健康な身体、心で過ごすための運動や体力づくりを実践してもらいたい。</li> <li>体育大会など運動に積極的に取り組む姿が見られた。集団行動や生徒の自主性が感じられる。</li> </ul>
	2. 望ましい生活習慣の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗い・うがいや早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣、メディアコントロールなど生徒の健康課題を委員会活動で取り組む。</li> <li>内容を見直したり、講師を活用したりして性教育を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早寝早起き、メディアコントロールについて、「のべおか健康長寿こどもポイント」の取組も合わせて委員会で取り組んだ。</li> <li>年2回、各学年での外部講師も活用しながら性教育を実施した。全校対象に包括的性教育の講演会も行った。</li> </ul>	3.9		<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での更なる向上をお願いいたします。</li> <li>家庭の協力が欠かせない分野である。</li> </ul>
	3. 安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練（土砂災害）を、早い段階で実施するために4月18日に行う。</li> <li>早い段階で延岡地区交通安全協会にご協力いただき、交通安全教室を実施する。</li> <li>今後も避難訓練と11月には地域防災学習を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練（土砂災害）を、予定通り4月18日に実施することができた。</li> <li>5月20日に、延岡地区交通安全協会にご協力いただき、交通安全教室を実施することができた。</li> <li>11月に地域防災学習を実施することができた。2月19日に避難訓練（火災）を行う計画である。</li> </ul>	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>地区への参加を含めた活動にも努力ください。</li> <li>生徒たちも、防災学習に積極的に参加していた。</li> <li>より一層の地域との連携をお願いいたします。</li> <li>避難訓練などには力を入れている。</li> <li>ご努力に感謝します。子どもの安全向上をお願いいたします。</li> <li>防災については、地域の住民も熱心であるため、訓練は多いほど良い。</li> <li>自転車については、小学生中学生ともに定期的な指導が望まれる。</li> </ul>
夢・自信・誇りの	1. キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部との連携を積極的に図りながら、計画的にあさひタイムを進めていく。</li> <li>内容の見直しを図りながら、より効果的な時間にしていくよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あさひタイムを中心にさまざまな地域の方を講師としてお呼びし、校外活動でお話ししていただくことで、生徒が人生について考える機会をいただいた。</li> <li>今年度新たに「ひなた場」を実施する計画（2月）で、地域の方々とのつながりを深</li> </ul>	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との交流の充実の更なる向上をお願いいたします。</li> <li>結果が分かりにくい事柄であるが大事な取組であると思う。</li> <li>「ひなた場」に対話講師として参加させていただきました。生徒たちが今までの人生を振り返り、そし</li> </ul>	

			めることができると考えられる。		てこれからそんな考えで生きていくのかを考える機会となった。
2. 保護者、地域・関係団体との連携充実	○ 校外でのボランティア活動への参加や、学校行事の取組等、地域や家庭、関係団体と進めていく。	○ ボランティアへの参加について、生徒アンケートでは、「とても思う」24.2%「思う」49.7%であった。 ○ 地域学校協働活動推進委員会を中心に、今年度は「吊るし飾り」に取り組んだ。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材の活用が積極的に図られ、生徒が自ら課題解決に向かう。</li> <li>・地域とのつながりは日常でも大切です。今一度地区から学校への登校、学校から地区へ登校の合い言葉の推進をお願いしたい。</li> <li>・とても素敵な吊るし飾り飾りができていた。子ども達の笑顔も良かった。保護者や関係者も喜んでいました。</li> <li>・今後ともさらにひと工夫、ご一考いただけたらと思います。</li> <li>・ボランティアへの理解が進んでいる様子がみえて心強い。</li> </ul>	